

2020(令和2)年度 横浜地区重点目標

重点目標：スカウト運動の将来のために

1. スカウト数の減少に歯止めをかけ、増加させる。
2. ユース世代の活動を強力に活性化させる。

昨年度は、地区のスカウト数の減少に歯止めをかけるという目標を掲げましたが、達成することができませんでした。地区委員長として、目標を達成できなかったことを深く反省いたします。今年度に関しては、昨年度以上に施策としてスカウト及び指導者がスカウト活動の楽しさを感じていただく地区事業を数多く企画し、そして運営していきます。

今年度の地区の重点目標は、引き続き上記の2項目を掲げます。また地区の実行目標を具体化しやすいように実施事項を明確に記しています。今年度は、目標に沿ってスカウト数の減少に歯止めをかけたいと思っています。是非今年度も横浜地区の皆様が同じ目標に向かって、一体感を持って、重点目標を達成させたいと思います。下記に記した実行目標は、ある意味当たり前のことです。当たり前のことを着実に実行し、成果を上げていくことを目指します。そのためには、皆様方のご協力が不可欠ですし、覚悟をもって実行することが求められています。

また2023年には、横浜地区創立50周年と言う、区切りの年を迎えます。昨年準備委員会を立ち上げ記念誌や記念行事の準備を開始しました。今年度は、更に具体化していきます。また50周年記念事業の一環として2021年には、第6回横浜キャンポリーを実施するための実行委員会を立ち上げます。

重点目標を具体化させるため、実行目標として下記を掲げます。

1. 重点目標に対して地区と各団が同じベクトルで連携し、目標を達成する為のアクションを起こします。

- 1-1 コミッショナーが中心となって各団の団委員長との対話を実行します。現状を把握し、スカウト減少の原因を究明し、各団とともに対策を進めます。
- 1-2 保護者が自分の子供の将来像が見える化できるイベントを企画します。
 - ・保護者に対してスカウトの将来像をわかりやすく伝えるため、ベンチャースカウトやローバースカウトのプロジェクトや活動の紹介、スカウト活動が職業にどう繋がるか等を保護者の方々に紹介する場を企画する。
- 1-3 近隣地域に「スカウト活動見える化」のイベントを企画します。
 - ・地区内のカブスカウトとビーバースカウトの合同活動を企画し、地域にスカウトの活動をアピールします。
- 1-4 地区内に社会連携広報部会を立ち上げ、地域社会と積極的に交流を図り、地区内ボーイスカウト運動への支援を要請し、また、積極的な広報に具体的に取り組みます。

2. 当該隊隊長や団委員長が進歩制度を正しく理解し、プログラムに展開できることがスカウトの成長を促すことであることを伝え、支援していきます。

- 2-1 ボーイスカウト部門～ベンチャースカウト部門への新進歩制度を正しく理解することによってスカウトにスカウティングの楽しさを伝えることができるように支援します。
- 2-2 楽しいプログラムがスカウトの進歩に繋がり、スカウトが進歩を実感することが上進へのモチベーションに繋がります。指導者に身につけて欲しい技能を修得できる部門別の研究会を実施します。

3. 魅力ある指導者を育成する為の支援を行います。

- 3-1 地区の行事を通して「ちかい」と「おきて」を理解してもらい機会を作ります。
- 3-2 指導者がスカウトスキルを身につけ、自信を持ってスカウトに指導でき、スカウトスキルを活用(応用)したプログラムが企画できる指導者を育成する為の訓練を企画します。
- 3-3 全団委員長の団委員実修所への参加、全隊長のウッドバッジ実修所への参加が、捗るように地区が支援します。
- 3-4 指導者養成を支援できるトレーナーを育成し、地区トレーニングチームを充実させます。

4. ユース年代(ローバースカウト)の活動の支援を行います。

4-1 地区内にユース部会を立ち上げ、各団のユース世代の活動を支援し、活性化させます。

4-2 ボーイスカウトの集大成としてローバースカウトが活躍できる環境を整えます。

5. 横浜地区創立 50 周年に向けての記念行事・記念誌の準備を進めます。

5-1 根岸準備委員会委員長を中心に行事準備部会、記念誌準備部会を立ち上げます。

・各団から推薦していただいた方から委員を選任し、準備を具体化させます。

5-2 横浜地区 50 周年記念(旧横浜地区 73 周年)行事の一環として 2021 年に第 6 回横浜キャンポリー(6YC)開催に向け小山地区協議会長を中心に 6YC 実行委員会を立ち上げ、各種準備を進めます。